

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社エフベーカーコーポレーション広島事業所

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市志和流通1-30

(3) 業種

パン製造業

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和2(2020)年度から令和12(2030)年度までの10年間とする。

3 計画の基本的な方向

当社は地球温暖化対策の重要性を認識し、事業活動に伴う温室効果ガス排出の原単位の削減に努めます。

- ・省エネルギーの推進、省エネルギー設備の導入等、エネルギー使用の改善を図ります。
- ・廃棄物の減量化、リサイクルを推進します。
- ・現状設備の維持管理、運用の見直しを行い、温室効果ガスの削減に努めます。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成25 (2013) 年度	令和2 (2020) 年度
二酸化炭素	3,620	2,596

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 () 年度	令和 () 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 () 年度	令和 () 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC) (PFC) (SF6) (NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)		削減目標		目標年度 (令和 () 年度)
	排出量 (a)		削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2					0
非エネルギー起源CO2					0
メタン					0
一酸化二窒素					0
その他 温室効果ガス					0
温室効果ガス 実排出量総計					0
温室効果ガス みなし排出量			-		0
目標設定の考え方					

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産数(千個)

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25 (2013) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和12 (2030) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	3,620	34,955	0.10	10.0	2,900	33,000	0.09
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	0.0460	10.1	-	-	0.0413
目標設定の考え方							

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	電気使用量の削減	電気の使用量を0.3%削減	照明設備をLED化する
2	電気使用量の削減	電気の使用量を0.5%削減	省電力のコンプレッサーに更新
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

--

(2) 実施状況の点検・評価

電気・ガス・水の使用量を毎日記録

(3) 計画書等の公表

--